



森の楽校だより

VOL. 10

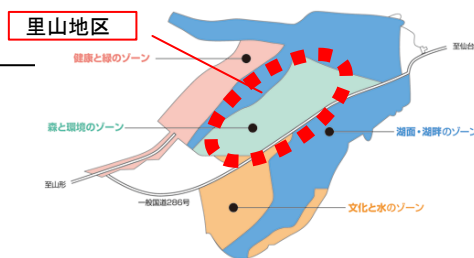


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成26年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、この度、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

今年度は最初の取り組みとして、森の中のコナラの木に、活動の拠点となるツリーハウスを作っています。



12月17日（土）晴れ テッキの範囲を広げました！

昨夜は一晩中、雪！
今年初めてのまとまった雪
でした。雪の中の活動です。



ファーストデッキは、ホストツリーを中央に、両側に広げる予定です。木を挟んで半分は、支柱、大引き、根太までできました。

今日は、反対側の半分の建て方を開始！まず、支柱を5本立てました。埋設される部分には防腐剤を塗ってあります。そして、長い大引きを渡して、固定しました。



雪の里山です。



お昼の だんらん



今日のお昼は、自然共生園で収穫した里芋、大根、ゴボウを使ったお味噌汁。寒い日だったので、体が温まる汁ものは大好評でした！

板挽き

大径木を縦挽きにして、板を作っています。これは人にもチェーンソーにもきつい作業ですが、まだまだ続きます。



道具小屋づくり

先週の活動では、道具小屋づくりの担当がお休みだったので、作業は進めませんでした。
今週は作業を再開。扉に板材を取り付けました。もう少しで完成です！

